



## 城主のプライベート空間 北の丸

北の丸は、城主や一族の邸宅などがあるプライベートな場所です。北の丸には櫓やぐらや堀ほりなどはありませんでした。現在は松井神社（明治14年創建）の境内となっており、細川三斎ほそかわさんさい時代に築かれたとされる庭園や石垣の一部、水堀が残っています。



ほそかわさんさい すきや  
八代城に入城した細川三斎は、北の丸に数寄屋と池を築き、龍峯連山を遠望で  
きる庭園をつくったといわれます。池は現在も残っており、当時の北の丸の姿を  
しのぶことができます。



がりょうばい  
**伝細川三斎御手植え 臥龍梅**

細川三斎が自ら植えたと伝える梅の木があり、樹齢400年を超えてもなお、毎年2月ごろには見事な花を咲かせています。熊本県指定天然記念物です。



# 必見！北の丸の石垣

北の丸には、小規模ながらも築城当時の石垣がよく残っており、必見です。

